

舟山

発行者
幸田町立南部中学校
近藤 克幸
第132号

地域に愛される学校をめざした南中祭

南中祭

今年度も南部中学区の地域のかたがたや、小学生、保護者の皆さまなど多くのかたに南中祭にお越しいただき、盛大に行うことができました。町民会館での合唱コンクールでは、素晴らしい歌声が響き渡りました。限られた準備期間の中、生徒たちの工夫や努力により、縦割り班による模擬店や有志によるステージ発表、さらに交流会で制作した作品の展示など、多彩な催しを行うことができました。皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます。



全校合唱「南風」

クラスで一つのものを

三年 小塚 光桜

今年の合唱コンクールは今までの合唱コンクールとは違った気合が入っていました。最後の合唱コンクール絶対勝ちたという空気がクラスにはありましたが私としては、悔いが残らないようにして、終わつた後に笑って終えられるようにしたいと思っていました。

練習を重ねていく中でいろんな問題がでてきました。その度に本気でぶつかっていく中で「このクラスで絶対勝ちたい」という思いに変化しました。私たちのクラスの級訓は「必死」です。必死にやったらしか見えないものがあります。今まで支えてくれたかたに感謝を届けようと必死に取り組みました。

本番は緊張しました。でも、今まで練習してきた仲間を信じ、指導していただいたことを意識して一組でしか歌えない歌を歌うことができました。最優秀賞を受賞できました。仲間と最後まで必死に取り組めてよかったです。



必死に歌った「春風の中で」

南中祭ステージ発表

二年 吉川 莉愛

私はバレーボール部の仲間と、南中祭のステージ発表に出演しました。空いている時間にダンスの練習を始め、中には覚えるのが大変なものもありましたが、仲間がゆつくりと振りを教えてくださいましたので、無事覚えることができました。当日は緊張しましたが、これまで練習してきたことができれば大丈夫、と自分に言い聞かせました。曲が流れ始め、「手拍子お願いします！」

と言うと、皆が手拍子をしてくれて、とてもうれしかったです。顧問の先生たちも登場し、体育館が湧き、発表は無事成功しました。南中祭を盛り上げようという意気込みで出演し、目標を達成することができました。バレーボール部の仲がより深まり、とてもいい一日となりました。



盛り上げたステージ発表

南中祭での学びと成長

一年 糸 龍真

私は、翠翔団で「千載一遇」という千本引きの出店チームでした。そのなかで私は、クイズを考える役割になりました。難しすぎず、難しいレベルのクイズを考えようがんばりました。できたクイズを先輩に見てもらおうと、「難しすぎる。二択で〇×問題にした方がいいよ。」

とアドバイスをくれて、改善することができました。自分では完璧だと思ったものでも、ほかの人に確認してもらうのは大事なことだと学ぶことができました。今までは違う、初めて来てもらう側としての南中祭でわからないところもたくさんありましたが、先輩や先生がたに助けていただいて思い出に残る南中祭にできたのでよかったです。



模擬店での様子

校内体育大会

絆を深めた南翔結戦

一年 曾我部夢羽

南翔結戦のリーダーとして前に出るという挑戦をしたことで、私は成長できたと思います。練習の中で集団をまとめることはすごく大変で、どうしようと悩むこともありましたが、みんなが協力して一緒にやってくれたときは、とても嬉しかったです。楽しいことも大変なこともあり、リーダーになってみるとわからなかった感情を知ることができました。この経験を通して、日常生活の中で「挑戦してみよう」と思うことが多くなりました。挑みます。南翔結戦の結果は負けてしまいました。南翔結戦の結果は負けてダンスを創り上げたことで、クラスの絆が深まったと思います。たくさんのが得られた行事になりました。



気持ちを一つにした南翔結戦

交流会

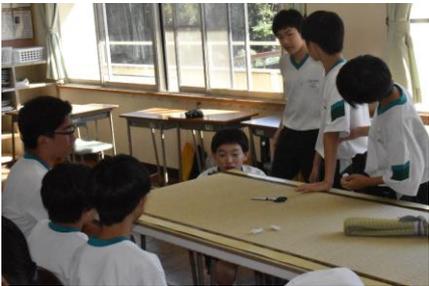
豊コースター作りから学んだこと

三年 大須賀陽輝

今年度の交流会から始まった豊コースターの講座がどんなものか気になり、講座を選択しました。実際に作っていく中で職人さんの苦労を知ることができたことはとてもいい経験になりました。ミリ単位の正確さが要求されながら作業効率を落とさないようにやるのは本当に大変だと感じました。一つの作業を丁寧に教えていただけただけになり、選択してよかったと思いました。

また、交流会の醍醐味である講師の先生、他学年との交流も改めてよいと感じました。先輩後輩関係なくアドバイスをしあいながら楽しんで作業できたことは本当にいい時間になっていると感じます。

これからも積極的に人とかわかることと、日本の伝統文化に触れていくことを大切にしていきたいです。



豊コースター作り(交流会)

新人体育大会

心を一つに

二年 丸山 優衣

私たちバレーボール部は、新人戦優勝を目指して練習してきました。私はキャプテンになり、チームが勝つために何をしたら良いのかを考えたところ、みんなの心が一つにならなければ勝てないと思いました。限られた時間の中で、みんなで声を出し合い、集中して練習することを心がけました。

新人戦当日はとても緊張しました。私はキャプテンとして一番声を出そうと思っていました。得点が決まればガッツポーズをしてチームを盛り上げ、全員バレーができたと思います。

しかし、結果は負けてしまい、とても悔しかったです。この気持ちを忘れずに毎日練習を頑張り、次の大会でも全員で心一つにし、優勝目指して戦っていききたいと思っています。

幸田町中学校新人体育大会(十月四日他)

○団体の部

優勝 卓球男女 剣道男子 野球

○個人の部

優勝 松下 竜誠(剣道男子高学年)

河合 百花(剣道女子高学年)

馬場 峻希(卓球男子)

第二位 小塚 星空(卓球女子)

大久保愛梨(剣道女子低学年)

後期生徒会役員紹介

会長	二年	鈴木 聡介
副会長	二年	角谷 凜
書記	一年	市川 紗羅
	一年	三浦 恵太
	一年	山崎 優輝

地域に愛される南中生に

生徒会長 鈴木 聡介

南部中学校の良さは地域とのつながりです。今年の南翔結戦は、体育館の中での開催になってしまいましたが、多くのかたに見に来てもらえました。一人一人の凛々しい表情と迫力のある演技で地域のかたからも温かい言葉をいただきました。また、伝統の一つである交流会では、地域の講師のかたを招き、普段できない貴重な体験ができます。みんな生き生きとした表情で取り組んでいます。地域のかたがたのおかげで充実した毎日になっています。

私は、この半年をかけて、地域のかたへの感謝の気持ちを南中生全員で恩返しできるようにしていきたいと考えています。日常や行事を通してみんなの当たり前のレベルアップができるように南部中学校を引っ張っていきます。南中生だけでなく、地域のかたとも絆を深め、より地域から愛される学校にできるように頑張っていきます。